

### アルプスロータリースイッチ



Yシリーズ

中止品

M-43

M-62

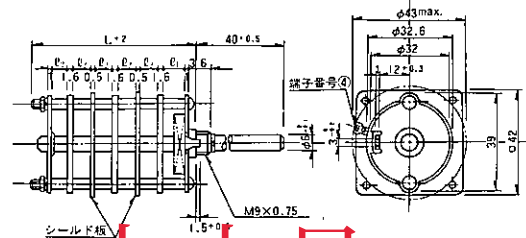
#### アルプス・ロータリースイッチ市販製品一覧表

形式番号	段数	接点数	回路*構成	シールド	t1	t3	L
Y-701	1	12	A		9		21
Y-801	2	12	A		9	5	27
Y-901	3	12	A		9	5	35
Y-100	1	5	E		9		21
Y-101	1	3	F		9		21
Y-102	1	2	B		9		21
Y-104	1	4	I		9		21
Y-105	1	3	J		9		21
Y-107	1	4	(E)		9		21
Y-201	2	5	E		9	5	27
Y-202	2	3	F		9	5	27
Y-204	2	6	LH		9	5	27
Y-205	2	4	(E)		9	5	27
Y-206	2	2	B		9	5	27
Y-300	3	3	F	2	9	5	51
Y-306	3	5	E		9	5	33

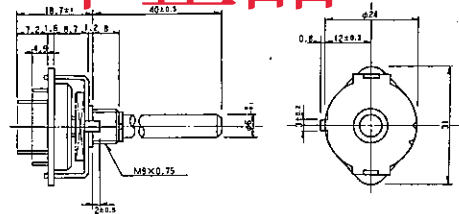
Yシリーズ

#### アルプス・ロータリースイッチ外形寸法図

Y形



M形



(ご注意)

Y-701 Y-801 Y-901およびY-107の切換タイミングはノンショータイプです。その他の機種はショータイプとなっております。

\*回路構成は回路構成図が裏面に示してありますのでご参照下さい。

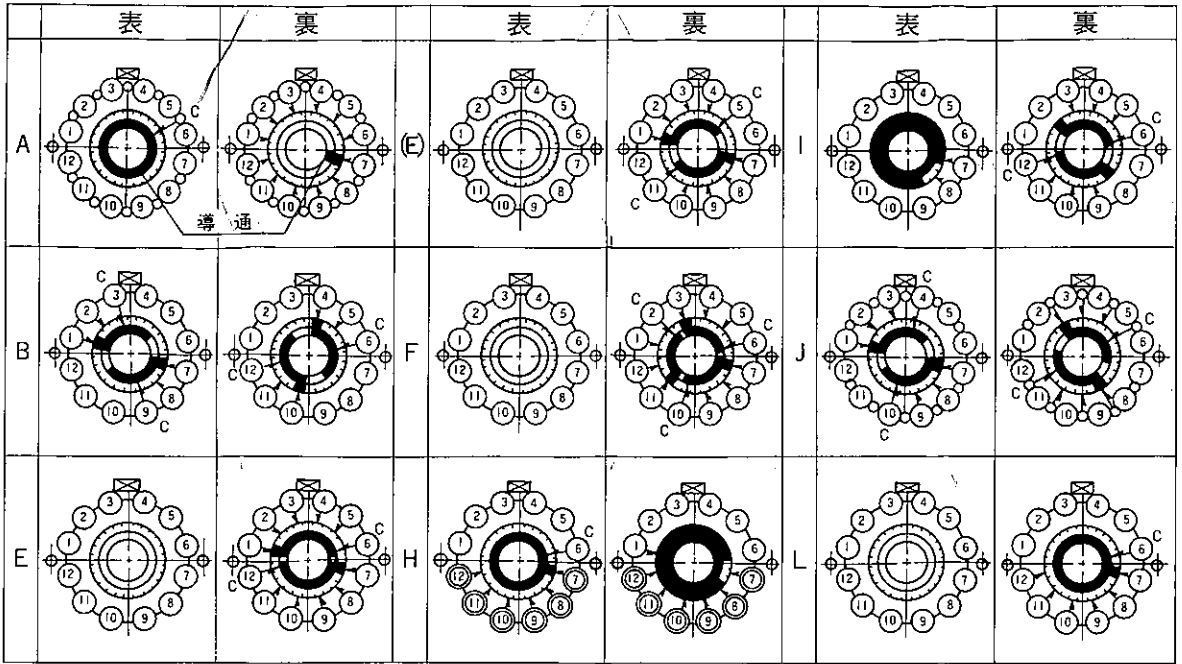
形式番号	段数	全回路数	接点数
M-1C	1	1	12
M-25	1	2	5
M-26	1	2	6
M-34	1	3	4
M-43	1	4	3
M-62	1	6	2

#### アルプス・ロータリースイッチ規格

シリーズ	支柱間隔	規		格					
		定 格	回転トルク (N・cm)	接触抵抗	絶縁抵抗	耐 電 圧	耐 湿 性	耐 久 性	
Y	32	DC30V 0.5A	1段 0.14±0.07	20mΩ以下	DC5V1A 電圧降下法	DC500V 絶縁計	AC500V (50または60Hz)	温度40±2℃湿度90~95% 48時間放置 30分後に測定	無負荷で10,000サイクル 15~20/分動作後測定
			2段 0.15±0.07						
			3段 0.16±0.07						
M	—	DC30V 0.25A	0.08±0.03	20mΩ以下	100mΩ以上	—	—	— 40mΩ —	

Yシリーズ 中止品

### 回路構成図



#### ※アルプス・ロータリースイッチのご使用上の注意

1. ハング付け：端子に配線を施す際のハンダ付けについてはあらかじめハンダ上げをして短時間に行なって下さい。端子が薄い金属で、鉋めてある黄銅リベットと熱膨張係数が異なるため、端子にガタが生じ、接触不安定の原因となります。
2. 配線：ロータリースイッチは複数の端子をもつスイッチですから配線をされる際はあらかじめ良く順序を考えて、前もって端子間で配線して置かねばならない所は忘れないようにして下さい。スイッチを取付けてしまって、狭い所にあとからハンダごてを入れたり、誤配線を繰り返すのがスイッチを痛める一番大きな原因のようです。
3. スイッチと他の部品との関係：バンド切換に使用されるときはコイル、バリコンとの関係位置が浮遊容量の大小に大いに関係しますので最も適当な寸法を持ったスイッチを選

- びかつ各部品との関係位置を慎重に決定して下さい。
4. スイッチの分解：相当熟練者でない限りスイッチの分解は避けて下さい。
5. 奥行き長いスイッチ使用の際は：長いスイッチをシャーシーに取付ける時は振れないよう締め付に充分ご注意下さい。

#### 市販製品以外の特殊品ご注文上のお願

製品仕様について下記の点をご明記下さるようお願い致します。

1. 段数、2. 全回路数、(各段の回路数)、3. 接点数、4. シールド板の取付位置枚数、5. シャーシー裏面より出る長さ、6. 各段の間隔、7. 接点の位置と切換方向、
- 上記項目の外にはなるべく略図を添えて下さい。